

鉄骨造骨組試験体の設置等業務

仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は、国立研究開発法人建築研究所が発注する「鉄骨造骨組試験体の設置等業務」に適用する。

2. 目的

本業務は、建築研究所が実施している「極大地震に対する鋼構造建築物の倒壊防止に関する設計・評価技術の開発」における研究の一環として実施するものである。本業務は、鉄骨造骨組の地震後の損傷検知に関する検討として実施する振動台実験のために、ALC外壁を取り付けた鉄骨造立体骨組試験体、振動台加振用治具、転倒防止治具の設置と入れ替え、及び、計測機器等の設置と入れ替え、及びそれらの撤去等の業務である。

3. 業務内容

業務の内容は、図1に示す鉄骨造立体骨組試験体、加振用フレーム、重り、転倒防止フレーム等の設置と、レーザー変位計、加速度計の設置、試験体への歪みゲージの貼付、材料引張試験である。レーザー変位計、加速度計、歪みゲージは、それぞれ、ブリッジボックスや動歪みアンプに接続すること。これらの計測機器の取り付け位置等は担当者が指示する。

鉄骨造立体骨組試験体は4体であり、これらの試験体や計測機器等の設置作業及び入れ替え作業、撤去作業等を行うこと。レーザー変位計、加速度計については発注者が用意する。歪みゲージ約250枚は、受注者側で用意すること。なお、業務遂行にあたっては関係法令を遵守すること。

4. 協議

業務遂行上疑義が生じた場合は、速やかに担当者と協議すること。

5. 実施場所

〒305-0802 茨城県つくば市立原1
国立研究開発法人建築研究所 強度試験棟

6. 検査

業務完了後は、担当者による本仕様書に基づく検査に合格しなければならない。

7. 履行期限

契約日の翌日から令和3年2月26日まで

担当者 構造研究グループ 上席研究員 長谷川隆

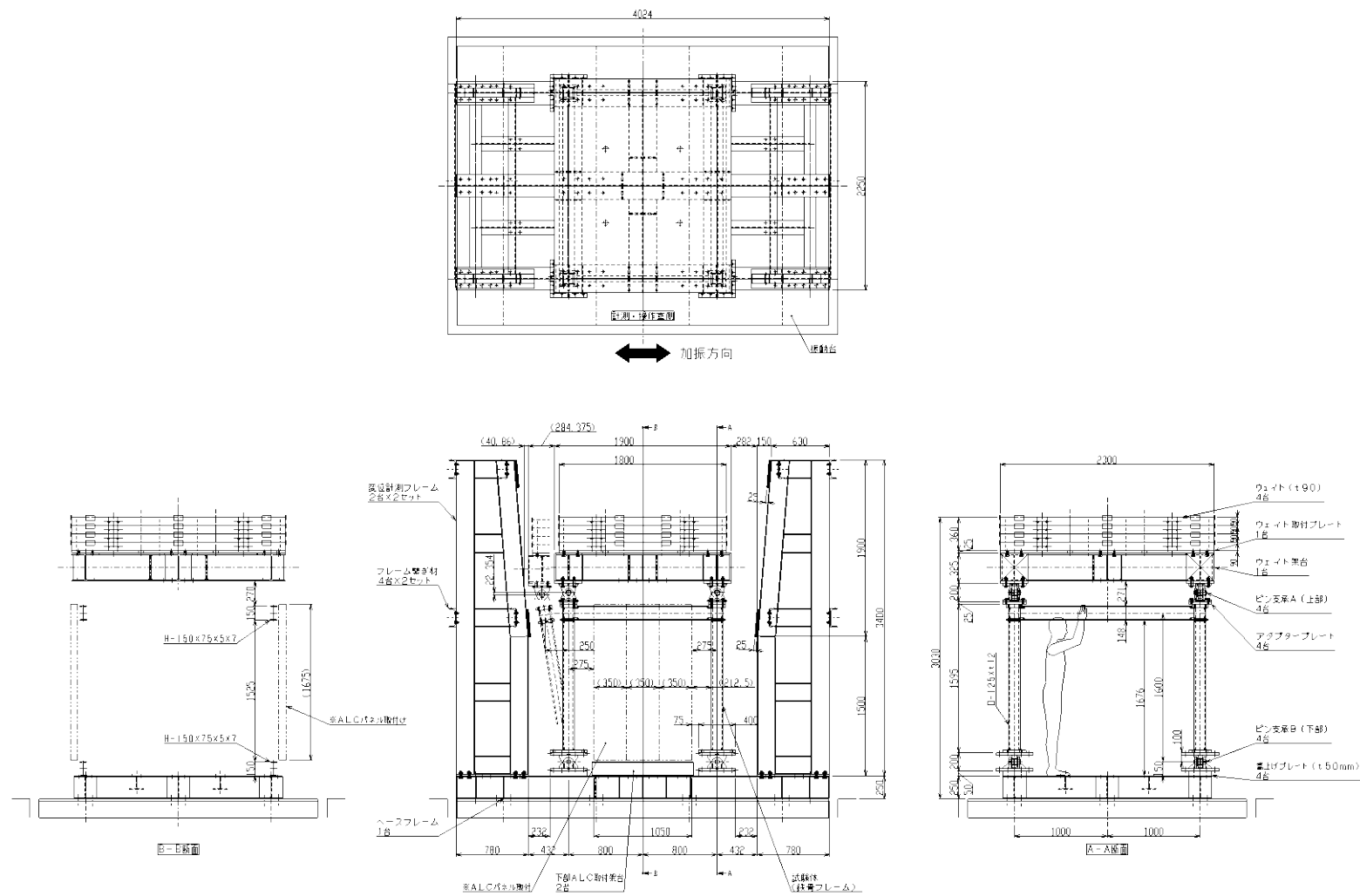


図1 鉄骨造骨組試験体及び加振装置全体のセットアップ